

小松電機産業

上下水管理コスト減

スマートフォン 一つの画面で把握

【松江】小松電機産業（松江市、小松昭夫社長、050・3161・2490）は、スマートフォンで管理できる上下水道遠隔管理システム「やくも水神Gシリーズ」を開発した。ゲーグルマップの使用ライセンスを取得し、多種多様な施設を同一システム上で管理できる。来春までに本格運用する。これにより3年後には、契約数を現行比3倍に増やす。

用。管理エリア内のすべての水関連施設を一つの地図画面で把握する仕組みとした。管理台帳などの新機能も追加した。メンテナンスや緊急時にスマートフォンなどのモバイル端末で管理画面を見ることができ、施設の位置や運用履歴・状況、解析データなどを現場で把握することで作業の迅速

化につながる。

同システムは、SaaS（ソフトウェア機能のサービス提供）形式としては国内最大の納入実績がある。上下水道施設などに監視端末を設置し、インターネットと携帯電話を利用して24時間、リアルタイムで情報確認できる。遠隔操作・制御などが可能で、異常や故障な

どのトラブルに迅速に対応。小松社長は「スマートフォンを使用することで住民の近くで水情報が提供できる」としている。これまで必要だった中央監視装置や専用回線が不要なため、大幅なコスト削減につながる。5月末現在で国内38都府県190自治体、4600施設で導入されている。

管理操作を行う地図画面にゲーグルマップを採